

堺市依存症地域支援計画（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○計画全体に関するご意見		
1	<p>依存症はアルコールや薬物など様々だが、再発率が高いので、地域、行政、警察、リハビリ施設等の協働が大事である。</p>	<p>ご意見のとおり、依存症の背景には様々な要因があり、依存症の治療だけではなく個々に応じた様々な支援を各関係機関と連携しながら総合的に行っていく必要があると考えています。</p> <p>本市では、本計画に基づき、関係機関等と連携を図りながら、再発も含めた依存症の予防に取り組めます。</p>
2	<p>いじめを受ける等の人間関係の悪化、家庭環境が悪かったりすることは依存症によって生じるものではなく、依存症に陥った原因として考えられるものとして挙げられる。この点にご留意いただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、依存症の背景にはさまざまな問題があり、それらが要因となって依存症に至ることがあるため、発生予防が重要であると考えています。</p> <p>また、依存症が進行することで、人間関係や家族関係の悪化等が起きることもあり、本人や家族が孤立せず、回復に向かうことのできるよう、進行・再発の予防も行います。</p>
○第2章 堺市の現状と課題 2. 市民意識行動調査およびインタビュー調査の結果 (6) 依存とストレスや自殺の関連性について		
3	<p>お酒、くすり、ギャンブル等の依存症とネット・ゲームに関する意識行動を同列に記載することは適切ではない。ネット・ゲーム依存症に関しては原因と具体的な対策、治療法自体も十分確立されているものではなく、本計画のこの分野の内容も具体的で効果的とは言えない。</p> <p>このまま記載を残すと、明確な因果関係が示されていないにも関わらず、関連性を提示することによりあたかも因果関係があるように読み取れてしまいかねない。よってネット・ゲーム依存症に関しての記載は削除するべきである。</p> <p style="text-align: right;">※同意見他1件</p>	<p>本計画では主にアルコール、薬物、ギャンブル等の依存症を対象とし、インターネット・ゲームは依存に関連する事項と位置付けています。</p> <p>ご指摘の調査結果は、クロス集計をもとに関連性があったものを現状として掲載しています。ご意見のとおり、ゲームとの因果関係を必ずしも示しているものではなく、ゲームそのものが自殺につながるとの誤解が生じないように、計画に注釈を新たに加えます。</p> <p>今後は国の動向を踏まえながら、引き続きゲーム等に関する実態の把握に努め、支援体制の整備を進めます。</p>